

シンポジウム“湯布院温泉”

Symposium on Yufuin Hot Springs

(1) 湯布院温泉紹介

京大地球物理学研究施設 吉川 恭三

(昭和50年10月1日受理)

Introduction of the Yubuin Spas

Kyozo KIKKAWA

Geophysical Research Station, Kyoto University

湯布院温泉という人為的に限定された地域の温泉を、温泉科学の対象として取り上げる意義は明確でなく、シンポジウムの焦点をどこにおくかは問題が多い。温泉には、自然的制約下で人間の欲望を展開して行く過程として捕えられる面が大きく、そこにその展開を秩序づけるための社会的規模が加わる。この三者の共存は温泉地共通の課題で、温泉科学の発展に制約として働く面もあれば、一方、次の秩序へ進むための栄養ともなる。温泉とは泥くさく、人間くさく、土地という制約下で蓄積されてきた農業社会の環境と類似した点が多い。性急に一般性を追うより、旧慣行より新慣行へ移る段階として、その温泉の特徴を自ら問い続ける時代と考える。このシンポジウムを通して、地質学はおもに自然的制約を、法律学で社会的規範をとりあげ、地球物理学では三者の影響下での現実の姿を示し、将来の指標となる特徴を医学に求めることができれば幸である。